
インストール

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
インストール

【コード】
N0093Z

【作者名】
ごほんライズ

【あらすじ】
小説あれこれ。また改稿するかも。既読の小説を再読して感じたこと。

綿矢りさの「インストール」を十年ぶりに読み返したらまた違った感触があった。そりゃそうだなと思う。あんどきは、アルバイトを始めて一年か二年目。今は11年目。オレの感覚が変わって当たり前である。

初読の時はなんてつまらん小説だと思っただが、再読したら面白く読めた。十年前は経験が浅かった。理に走り過ぎていた。今は経験を積み、直観で読むようになってる。つまり、十年前はストーリーを讀んでいて、今は文体を讀んでるわけ。日本の作家はストーリーより文体が突出した作家が多い。

どっちがいいかというと、どっちもよくない。偏り過ぎるのはいかん。ストーリーと文体のバランスを考え、讀んだり書いたりすんのが肝要だ。今は文体に偏り過ぎてる。今後の課題。十年前のようにストーリーに偏り過ぎるのもよくない。

筒井康隆も再讀してだいぶ感触が違う。やはり、昔はストーリーを讀んでたからおもしろく感じていたが、今は文体を讀んでるからつまらなく感じる。筒井は日本では異端児で、やはり文体よりストーリーが突出してる。

これもバランスが悪い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0093z/>

インストール

2011年11月30日18時46分発行